

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第94号 2019年2月5日

写真 こども館
雪中レクリエーション「雪合戦」
（表紙説明は1ページ）

- p2 新春を迎えて ～年頭あいさつ～
- p3 こんなことが決まりました ～三和高校改修工事～
- p5 町政を問う。 一般質問に3議員が登壇
- p9 決算審査特別委員会Q&A
- p12 町民インタビュー聞かせて “コーラス「にれ」”

新春を迎えて

和寒町議会議長 塚崎 正

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平成三十一年の新春を、ご家族お揃いでお迎えできましたことに、心からお喜びを申し上げます。

また、日頃から議員活動にご理解とご協力をおいただき、議員一同、深く感謝を致しております。

さて、平成三十年を振り返りますと、奥山町長の2期目がスタートし「協働のまち、未来につながるご和寒町」をテーマに町政が進められてきました。

昨年は大雨や胆振東部地震による大停電など多くの天災に見舞われ、町民の生活に支障を及ぼすこととなったことから、今後、関係機関との連携をより密にしながらさらなる防災対策に努めていただくようお願いいたします。

基幹産業の農業におい

ては、低温・大雨・干ばつなどの天候不順に見舞われ、水稲・畑作とも昨年と比較し収量に被害が及ぶ結果となりました。

また、平成30年12月に発行となった環太平洋経済連携協定（TPPイレブン）につきましては、農畜産物の低関税枠の拡大により、本町の農畜産業へどのような影響を及ぼすのか注視が必要と感じているところです。

近年においては、欧州のEPA、TPPイレブンを巡る情勢やJR線路存続の問題など、目まぐるしく変化する世の中で予断を許さない状況にあります。本年は平成最後の年であり、今後は新たな発想のもとで少子高齢化対策や福祉、教育、産業の振興、生活環境整備の推進などに議員一丸となって努めてまいります。

最後になりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新春のご挨拶と致します。

本年もよろしくお願ひ申し上げます



議長 塚崎 正
副議長 佐々木 広行

総務福祉常任委員会

委員長 中原 浩一
副委員長 窪田 裕二
委員 佐々木 広行
委員 酒向 勤
委員 下條 美恵

産業教育常任委員会

委員長 石田 利明
副委員長 伊藤 明
委員 佐々木 広行
委員 金谷 浩幸
委員 谷口 勝弘

議会運営委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 金谷 浩幸
委員 佐々木 広行
委員 中原 浩一
委員 石田 利美

議会広報委員会

委員長 谷口 勝弘
副委員長 下條 美恵
委員 酒向 勤
委員 伊藤 明
委員 窪田 裕二

議会選出監査委員

金谷 浩幸

三和高校改修工事 ～1500万円で補正予算計上～

あらまし

12月定例会（第4回定例会）は、平成30年12月20日から21日にかけて開催しました。20日は、町長の行政報告のあと、一般質問を行い3人の議員が登壇したあと、条例改正の議案審議をしました。

21日は条例改正や補正予算等の議案審議の他、平成29年度決算の審査報告なども行ないました。また、意見書1本を可決し閉会しました。なお、今定例会の傍聴者は延6名でした。

補正予算

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

総額で682万5千円の増額補正を可決しました。

教育費では三和高校校舎屋上防水改修工事に伴う増額補正。

民生費では高齢者福祉施設整備構想調査業務委託として特別養護老人ホーム改築、高齢者住宅などの施設整備に係る調査を行うことに伴う増額補正を可決しました。

主な質疑

問

三和高校校舎について、今後、他に改修が必要なところは把握しているのか。

委長 救次

建設から22年経過しており、次は壁などの修繕が出てくると思われる。

問

繰越明許ししなければならぬ理由

務長 総課

今年度北海道の過疎債対象事業の同意が得たため、少しでも有利な方法で改修できるように繰越明許費として補正した。工事は3月末頃に発注する予定。

【国民健康保険特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

人件費の整理や国保ラインシステム改修業務委託に伴い、総額で88万9千円の増額補正を

可決しました。

【簡易水道事業特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

人件費の整理などに伴い、総額で57万5千円の減額補正を可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

人件費の整理や各種委託料・工事費の執行残整理などに伴い、総額で679万6千円の減額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】
（全員賛成可決）

人件費の整理などに伴い、保険事業勘定では151万5千円の減額補

条例

正、サービス事業勘定では13万1千円の増額補正を可決しました。

【議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】
（全員賛成可決）

【特別職職員の給与に関する条例の一部改正】
（全員賛成可決）

【職員の給与に関する条例の一部改正】
（全員賛成可決）

人事院勧告に伴い、手当などの引き上げに関する改正を可決しました。

※次ページへ続きます。

注1：繰越明許費とは、…歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用する経費をいいます。

条例など

【地域福祉基金条例等の一部改正】

（全員賛成可決）

各基金の現金を国債など確実かつ有利な有価証券に代えることができる改正を可決しました。

【特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る利用者負担等に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

未婚のひとり親を寡婦（夫）とみなし、保育料を算定するなどの改正を可決しました。

【定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結】

（全員賛成可決）

名寄市及び士別市と結んでいる協定内容の福祉・教育分野に関する部分の改正を可決しました。

【公の施設の指定管理者

の指定について】
（全員賛成可決）

左表の施設の指定管理者の指定を可決しました。

名 称	①三笠山自然公園 ②和寒町東山スキー場
指定管理者	道北環境整備協同組合 理事長 近藤 清秀
指定の期間	平成31年4月1日から 平成34年3月31日まで

審査報告

谷口勝弘決算審査特別

委員長から委員会審査の報告がなされ、採決の結果、一般会計、5特別会計、病院事業会計がそれぞれ賛成多数で認定されました。

決算審査特別委員会の

内容は、9～11ページの「決算審査Q&A」をご覧ください。

みんなの
声を
国政に

公益に関わる次の件について、議員から意見書案が提出されました。
第4回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出されました。

日米物品貿易協定交渉に関する意見書

提出者：中原浩一 賛成者：石田利美、金谷浩幸、伊藤 明
採決結果：可決（全員賛成）
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済再生担当大臣、
（全1項目）

産業教育委員会所管事務調査報告

農業振興補助について

平成27年6月開催の第2回町議会定例会において所管事務調査とし、本町の農業振興について多岐にわたる議論を行ってきた。

この間、平成29年12月定例会において中間報告を行っている。

格差を平成29年度から3年間補助することとした。
平成29年度の実績は補助額190万4,026円、122戸の利用があった。

調査の結果

○農業経営力支援事業補助

農業者の労働力不足などに応えるため、生産性向上やコスト削減などを目的として平成27年度から3年間の補助が実施された。

3年間の実績は補助額約1億200万円、110戸の利用があった。

○特産物生産振興補助

南瓜用マルチが生分解性に置き換わったため、激変緩和措置として光分解マルチとの備

○パワーアップ事業

農業者が必要な生産基盤整備などに取り組めるよう、パワーアップ事業での受益者の負担軽減が図られている。

基盤整備は農作物の高付加価値や品質向上のほか、農家経営の安定に欠かせない事業であり、平成30年度予算に8,407万8千円が計上され6地区で事業が実施された。

農業戸数の減少、農業の担い手不足は農業を基幹産業とする本町にとって深刻な問題であり、今後も町独自の農業政策を構築していただきたい。

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質問事項	ページ数
窪田 裕二議員	①危険家屋等解体支援事業の見直しは ②和寒町の冬の防災対策は	6ページ
石田 利美議員	①町立和寒病院の改革の今後は ②協働のまちづくりの進め方は	7ページ
佐々木広行議員	①公共施設等の整備については ②自治会のあり方については	8ページ

問 危険家屋等解体支援事業の見直しは
答 施設建替や社会保障問題等解決が優先



窪田裕二議員

問 和寒町の冬の防災対策は
答 大停電が起きないように北電に要請

危険家屋等解体事業継続の考えは

平成29年度、危険家屋等解体事業が終了した。

危険家屋が住民にとって、倒壊不安や治安の問題、なおかつ、農村部であれば動物が住み着くなど、ここ近年、メディア等でも空家問題が取り上げられている。

しかしながら、和寒町も高齢化に伴う危険家屋問題は増える要素の方が大きいと考えるが、なぜ、今年度で終了するのか。

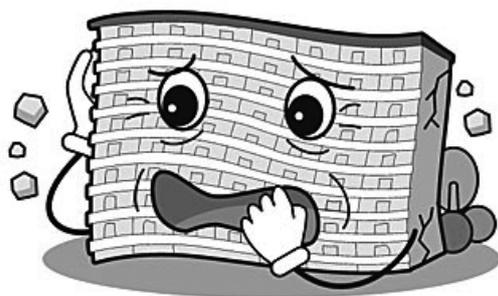
また、中身を変えて事業を行う考えはないのか。

奥山町長

危険家屋等解体支援事業は、町民の生命、身体、財産及び生活環境に対して重大な損害が発生することを防止するため、平成27年度から3年間の時限で取り組んできた。

3年間の期間中、実績は10件。この間、産業廃棄物としての処理費用や運搬費用などで

多額の費用がかさみ、自己負担も伴うことから、町の事業を利用せず、リサイクル目的で個人的に敷地内に解体資材を堆積保管する例もあった。高齢者福祉施設の建替えや、町立病院の問題、高齢化に伴い増大する社会保障の問題など、予算を伴う解決すべき課題があり、解決の道筋がつかいたら検討すべきと考える。



冬の防災対策は

胆振東部地震から、北海道としても災害意識が大きくなり変わったと考える。

和寒町も例外ではなく、全国各地でのブラックアウトを体験。

季節的に暖かかったことが不幸中の幸いであるが、真冬に起きたら生命の危険がある。

冬の対策はどのように考えているのか。

奥山町長

今回の災害は、比較的にかい時期に発生しており、冬期に大停電が発生した場合、生命が危険にさらされる状況も想定しなければならぬと考えている。

町としては、北海道町村会を通じて、監督官庁である北海道経済産業局と電気事業法で管理されている北海道電力に対し、万全な電力の供給について強く要望したところである。

また、冬期において、暴風雪での交通障害によって避難中に二次災害が発生することも想定する必要がある。

○再質問

緊急時の燃料取扱店との協

定の検討は、どのようなったか。

総務課参事

締結を正式に結びたいというところで町内スタンドに話をした経過がある。

現在の段階で、まだ難しいところもあるが、可能なスタンドについては、締結書の案を示して解をいただいている状況のため、締結をさせていただきたいと考えている。

○再質問

和寒町地域防災計画に関して、今後、見直しの検討は。

また、防災計画書の中身で、停電が起きる前提で計画は成り立っていないと考えるが。

奥山町長

国や道の方針に沿って直す必要がある。

ただ、国、事業者が想定していないことが、市町村が先に想定するのは難しい。

見直すところは、速やかに直す必要がある。

石田利美議員



問 町立和寒病院の改革の今後は

答 病院の収支の改善に向けて抜本的な見直しをする

問 協働のまちづくりの進め方は

答 第6次総合計画の準備を来年度から進める

町立和寒病院の改革の今後は

平成30年から、一般病床10床、療養病床20床にして、病院の改革プランに取り組んだが、いまだに実現できていない。

これからの取り組みは。

奥山町長

町では、病院経営の効率化などを目的に、平成29年7月に総務省からの指示に基づき、町立和寒病院改革プランを策定した。

平成30年4月を目標に入院病棟を見直し、一般病床10床と療養病床20床のミックスマットにして、病床利用率を70パーセント以上にすることを定めた。

しかし、改革プラン策定後に看護師が複数名退職し、この間、病床変更に必要な看護師について関係機関を通じ募集してきたが、未だ確保に至っていない状況にある。

町立和寒病院における入院患者数や外来患者数は、年々減少しており、その結果として

一般会計から繰入金が増大している状況にある。

このため、今後は町が抱える高齢者福祉施設の建替えや運営費補助の問題、高齢化に伴う社会保障費の増大など、大きな課題があることも十分踏まえ、町立病院の収支の改善に向けた抜本的な見直しを検討する必要がある。



▲収支の改善に抜本的に取り組む

和寒町のまちづくりは

第5次和寒町総合計画後期推進計画は、平成31年と平成32年の2年間で終了する。

平成31年の予算のなかで、町長が2期目の公約に掲げた

協働のまちづくりが予算に反映しているのか。

また、推進状況は。

奥山町長

来年度の予算編成は、これまでと同様に公約で掲げている少子高齢化を見据えて保健、医療、福祉を充実させて、安心して暮らすことのできるまちづくり、産業育成による活力あるまちづくり、ひとが輝くまちづくりの三つの重点目標に沿って必要な経費を計上していく。

なお、今年度から取り組んでいる事務事業の見直しにおいては、住民負担も考慮して使用料、手数料の見直しも検討し、和寒町の未来につながる協働のまちづくりを進め

ていく。

第5次和寒町総合計画後期推進計画は、事業費ベースで後期計画期間の5年間で100パーセントとした場合、平成29年度までの実績と平成32年度までの計画を合わせると、104パーセントになる見込みである。

平成33年度以降の第6次総合計画の策定に向けて、来年度から準備を進めていく。



▲使用料の検討（東丘浄水場）



佐々木広行議員

問 公共施設等の整備については

答 駅のトイレは沿線自治体の方針が固まった段階で実施

問 自治会のあり方については

答 自治会連合会や町政懇談会の意見を尊重し検討する

公共施設等の整備については

2年後には東京オリンピックが7月に開催され、8月にはパラリンピックが開催される。

国内においては公共施設の整備などが進められている。

本町も時代に即応した公共施設の整備が必要と考える。

特にトイレの洋式化等について急務であると思うが、町長の所信は。

奥山町長

近年ほとんどの個人住宅では、トイレの洋式化が進んできている中、小さな子どもや高齢者の方々には、生活環境や健康状態などから「和式のトイレが使えない」との声があることも承知している。

町では町政懇談会などでの意見も踏まえ、公共施設のトイレの洋式化を進めているが、「和式でなければ使えない」との意見もあり、役場庁舎内のトイレについては、洋式と和式を備えている。

○再質問

4年前から駅のトイレ問題も出ており、町ではJRに要望していくとのことであったが、進捗状況は。

総務課長

現在JRとは協議中であり、約800万円くらいかかると見積している。

町としては、財源を探しているが町単費以外は見当たらない状況だ。

○再質問

財源の話がすれば、町は、まだまだ余裕があると思っており、住民の要望にこたえることが必要と考えるが。

奥山町長

駅舎のトイレについては改修すべきという想いは持っている。

今、JR沿線問題については、沿線自治体同士が全て連携した上で取り組むべきと考えている。

国、JRの方針が決まり、沿線自治体の方針が固まった段階で実施すべきと思ってい

る。



▲駅舎トイレの水洗化について協議されている

自治会のあり方については

本町の人口は、昭和31年に1万1,736人であったのがピークであり、その後年々減少の一途である。

人口減少の対応により、行政区から自治会に移行して10年が経過したが、様々な問題点が出てきている。

特に人口減少と高齢化であるが、現状認識とこれからの対応策について町長の所信は。

奥山町長

従前、行政運営を円滑に推

進するため、町が行政区を設置した。

その後、地域人口の減少や小学校閉校に伴い行政区の再編が進められ、平成20年には町民の積極的な参画と行政との協働のまちづくりを推進するため、現在の自治会制度に移行してきている。

現状認識としては、毎年開催されている町政懇談会もあり、地域の方々から地域の人口減少問題や、町民大運動会への参加の問題などが提起されている。

今後も自治会連合会の研修の場や、町政懇談会などでの意見を尊重しながら自治会のあり方を検討していく。



▲平成30年度町政懇談会

より良いまちづくりを ～平成29年度決算審査特別委員会報告～

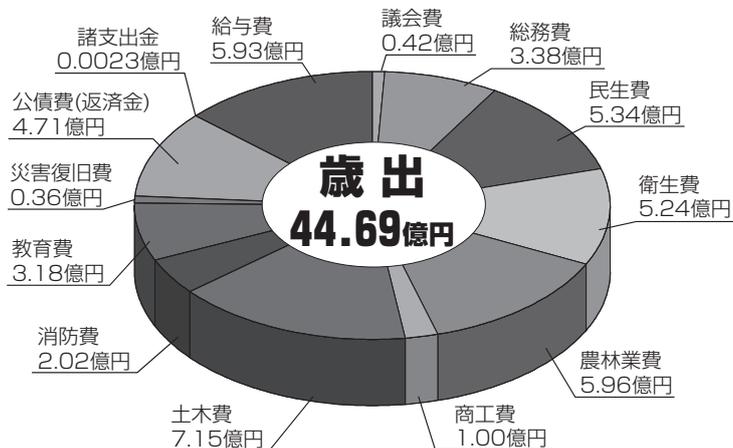
平成29年度の一般会計、5特別会計、病院事業会計の決算は、平成30年11月7日～9日の3日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会(谷口勝弘委員長・酒向 勤副委員長)で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成29年度 各会計決算状況 ※1万円未満切り捨て表記

会計別	予算額	収入額	支出額	差引残額	
一般会計	46億 578万円	45億6058万円	44億6955万円	9103万円	
国民健康保険特別会計	7億 436万円	6億8846万円	6億5485万円	3361万円	
簡易水道事業特別会計	16億3874万円	16億3963万円	16億3540万円	423万円	
公共下水道事業特別会計	2億3537万円	2億3296万円	2億3156万円	140万円	
後期高齢者医療特別会計	6383万円	6383万円	6360万円	23万円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	5億8152万円	5億6501万円	5億5825万円	676万円
	介護サービス事業勘定	5921万円	5909万円	5782万円	127万円
合計	78億8885万円	78億 960万円	76億7104万円	1億3856万円	
町立和寒病院事業会計	収益的収入	4億7066万円	収益的支出	4億6214万円	
	資本的収入	870万円	資本的支出	1637万円	

一般会計



町民1人当たり
約130万8417円

前年度対比4万6984円増

議会費	1万2419円	0.95%
総務費	9万8961円	7.56%
民生費	15万6386円	11.95%
衛生費	15万3486円	11.73%
農林業費	17万4445円	13.33%
商工費	2万9151円	2.23%
土木費	20万9236円	15.99%
消防費	5万9089円	4.52%
教育費	9万3088円	7.12%
災害復旧費	1万626円	0.81%
公債費	13万7992円	10.55%
諸支出金	7円	0.00%
給与費	17万3531円	13.26%

決算審査 Q&A

3年間で42件

マイホーム応援事業

Q 町外者の定住の促進を目的としているが、町外から来てこの事業を利用した方はいたのか。

A 3年間で合計42件(うち中古21件)のうち、転入者は4件(うち中古2件)の実績があった。

Q 町外からの利用者が少なく残念だった。3年間の時限で終了したが、目的をどれだけ達成したのか検証し、新たなこのような事業の考えも作っていただきたいが。

A 町内の空き屋の活用も進んだと思っっている。

この事業の継続の要望は町民の方からも何度か聞いているが、今後、安心して暮らし続けられる環境を作るためにも、見直しながら考えていく必要がある。



エココテージ

Q 年間通しての稼働率は。

A 前年度並みの49.7%。

Q 停電時の対策は。

A 9月の停電の際は、出向いて利用者に懐中電灯を渡したり、不便なことがあればお話しただきたい旨をお伝えした。

町全体の話になってくるので、対応を検討したい。

ごみ処理

Q 資源ごみ広域処理負担金、前年度と比較して110万円ほど増額しているがその理由は。

A プラスチック、ペットボトル、白色トレイの資源ごみを土別環境センターに持ち込んで中間処理してもらっているが、選別ラインが強化されたことによる増額となっている。

Q 当町の異物混入率は。

A 本町から搬出されたプラスチックごみは最も高いAランクを付けていただいている。

土壌診断

Q どのくらいの診断があったか。

A 圃場数515点のサンプルが持ち込まれた。

Q 土壌診断をすることによってポイントが上がるなど、町独自の取り組みを検討してみは。

A 方向性や今のあり方など全体を含めて議論する必要がある。

夫婦岩遊歩道

Q 観光道路にするつもりであればもう少ししっかりと管理すべきでは。

A 町道から登り口までの道路は大雨などによりひどい部分もあった。行事の前にはチップを敷くなどしているが、抜本的な整備には相当な予算がかかると考えている。

今後、頂上まで登れるような道路も含めて長期的に考えていきたい、今の状況でも登りやすい環境に配慮していきたい。

商工業

Q 他と比べて商工業の資料の薄さが気になる。

商工業も活性する仕組みを作っていくことが必要では。

A 今後も関係団体と連携し、商工業の発展を念頭に置きながら前へ進んでいきたい。

「わんぱく広場完成」

保育所

Q わんぱく広場整備の反応は。

A 低年齢の子どもの外遊びが積極的にできるようになった。

高年齢のクラスも今までできなかった泥遊びができるようになり、楽しそうに遊んでいる。



▲外遊びの楽しさが広がった

救急救命

Q 今現在、本町で救急救命士は何人いるのか。

A 5名あり、内訳は内部育成3名、新規採用が2名となっている。

Q 常時24時間体制で救急救命が可能と考えると良いのか。

A 5名の救命士でローテーションを組み、常時救命士1名が乗車できる体制で運用している。

町有バス

Q 団地で町有バスを利用したい場合、何名以上であれば可能か。

A 町有バス管理運営要綱の中で15名以上と定

めている。

Q 少子化社会で人口が減るなか、その人数制限は妥当か。

A 意見をふまえて、今後検討する。

ふれあいのもり

Q 体育協会に管理業務を委託しているが、すべてまとめて委託しなくても良いのでは。

A 草刈りや雪下ろしは別に分けた方が良くと思われるが。

Q 指定管理自体は行政のスリム化という議題の中から進めていること。

A 位置的にも、作業をまとめて行うことができ、合宿等での利用も含めて合理的な考えだところ理解いただきたい。

町立病院

Q 看護師不足の対策は。

A ナースデータバンクや公共職業安定所において募集している。

年に一度、上川管内の公立病院の事務長や看護師長が集まる会議で課題を共有している。



簡易水道

Q 浄水場建設に係る起債の償還について、水道料に転化していく考えは。

A 平成30年6月に給水が開始されたばかりであり、実態を見ながら検討していく。

表紙の説明

今回の表紙は、子ども館シリーズ第3弾雪中レクリエーションを取材しました。今年は、雪合戦に挑戦しました。

コンパネを借用してシエルトーをつくり、雪玉の代わりにカラーボールで行いました。

互いに1勝した第3試合は、接戦の攻防が続き時間切れ引き分けとなりました。参加した子ども達は、力の限りボールを投げて雪とたわむれ、ゲーム後は豚汁を食べ、大満足のひと時を過ごしました。



町民インタビュー

聞かせて

“コーラスにれ ハーモニーが心地よい!!”



サークルとして発足してから、41年目になる「コーラス「にれ」」
新年最初の練習日にお邪魔をして、会員のみなさまにお話をお聞きました。

現在の会員数は？

15名です。
会員の平均年齢が上がってきているので、若い方が入会してくれば嬉しいですね。

会員は随時募集していますので、練習を見に来てください。

入会のきっかけは？

お誘いを受けました。

「立っているだけでいいから」って言われて(笑)昔、和寒町吹奏楽団で活動していたのですが無くなって、その後、和寒ウインド・オーケストラが発足したのですが、それも解散してしまって・・・そのとき、数名と一緒に入会しました。

会の活動は？

40年間参加継続中の、道北合唱祭と町民文化祭それと、芳生苑とおや里かんへ慰問に行っています。

練習は毎週木曜日、午後7時30分から公民館で



しています。

毎年、新曲を2〜3曲練習しますが、その他に、道北合唱祭では参加者全員で合唱するので、課題曲を短期間の練習で覚えなければなりません。私たちもドキドキしながらステージに立ちますが、指揮棒を振る先生が一番ドキドキでしょうね(笑)

コーラスの魅力は？

何といたってハーモニーの心地よさですね。

ただ、指導いただいた永易先生の要望には、頭で分かっているけど、体

がついて行かず、なかなか応えられていませんけど(苦笑)

それでも、これだけ長く続けているのは、仲間と楽しく過ごせる時間があるからです。

合唱で大事なことは？

健康第一です。
腹筋と背筋を使うので、やせる効果もありますよ。



※発声練習を体験しただけで、うっすら汗ばむくらいのエネルギーを使いました。

是非体験してみてください。

広報委員の一言

平成も残り3カ月。平成元年の4月に導入された消費税3%が、新元号元年の今年10月に10%になります。

じわじわと上がってきた消費税ですが、今回は軽減税率やポイント還元など、とても分かりづらいことになっています。

わが町の使用料や手数料の見直しも検討されています。
人口減少、少子高齢化、医療福祉問題と課題は山積みですが、なにより健康が一番大切です。

最近、医療や健康番組が多く放映され、何が体に良いのか混乱しますよね。

ですが、総じて笑顔で過ごすことが何よりも大切なことだと思いますよね。

「笑門には福来る」ですよ。

(美恵)